



心に寄り添うとは

私は2018年4月から日本基督教団池田五月山教会の牧師として、また池田五月山教会幼稚園のチャプレンとして働いています。日々、子どもたちと関われることは本当に楽しいことです。池田五月山教会幼稚園は定員90名で3クラス。1つのクラスに3歳児、4歳児、5歳児が一緒にいる、いわゆる兄弟姉妹のような「縦割り」の保育をしています。そして、この縦割り保育を通して、子どもたちは、お互いに関係をつくり、一緒に遊びながら、豊かに成長していく姿をいっぱい見せてくれます。

少し前にこんなことがありました。幼稚園の門のところまで一人の年少の男の子が「お母さん、お母さん」と泣いて泣いて泣いていました。その時、子どもたちはみんな園庭で遊んでいたのです。通りかかった私はその子を助けようかなと思いつつ、様子を見ていました。すると園庭で遊んでいた年長の男の子と年中の男の子が、泣いている子に気づいたので。そして「どうしたの」と声をかけました。年少の子は「お母さん、お母さん」と泣き叫んでいます。すると二人の男の子たちが「大丈夫だよ。お母さんすぐに迎えに来てくれるよ。」と言って慰めたのです。「もう泣かないであっちで一緒に遊ぼう。一緒に虫を捕まえようか」とそばにいて

声をかけています。しかし、年少の子はいっこうに泣き止みません。どうするかなあと思って見ていたら、年長の男の子と年中の男の子が相談し始めました。そして一人がその子のそばにいて慰め、一人が先生に助けを求めに走っていったのです。

私はこの様子を見て「この子たち、すごく成長しているなあ」と感動しました。子どもたちは普段から異年齢の子どもと一緒に遊び、関係性をつくっています。いつしか年齢の上の子が下の子のお世話をするのは当たり前になっていきます。そして、泣いている年少の子を慰めようとし、どうしても解決できなければ、自分たちで相談し、誰かに助けを求めることができたのです。神さまは子どもたちを心もからだも豊かに成長させてくださっていると感謝した出来事でした。

今、新型コロナウイルス感染症のため、大変な対応を求められています。池田五月山教会幼稚園でもいろんな感染症対策をしつつ、保育をしています。親子で密になることを防ぐための時間差登園や園に一度に集まる人数を減らすために行事の形態を見直しました。また、子どもたちが食事をする際には、アクリル板の仕切りを立て、椅子の配置も工夫しています。そして、子

どもたちの使う、机、イス、遊び道具などを毎日、消毒し、感染予防の対策をしています。このような取り組みをどの園でも行っていることと思いますが、現場の職員の皆さんの労苦にはほんとうに頭が下がります。

しかしながら、園庭などで自由に遊ぶ時に、子どもたちに密になるなど求めるのは無理です。園庭で鬼ごっこをしたり、虫取りをしたりして遊んでいる子どもたちに、「ソーシャルディスタンスです。離れて遊びなさい」なんて言えないでしょう。むしろ、子どもたちは密になり、一緒に遊ぶことを通して、関係をつくり、成長していくからです。私たち大人はできる限りリスクを下げる努力をしつつ、新たな発想や創意工夫をしながら子どもたちが一緒に遊び成長し続けることができる場をつくっていくことが大切だと思います。



日本基督教団
池田五月山教会
牧師

ありさわ しんいち
有澤 慎一

■大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭・地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境・人権・貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

私たちが保育で一番大切にしたいこと、それは、子どもたち一人ひとりが、「愛されている自分」を感じることに

YMCAで保育に携わる私たちは、子どもが子どもらしくあることを喜ぶ人でありたいと思います。子どもたちを見るその眼差しが、イエスの愛の眼差しと同じであるように…

心に寄り添い、心を支える保育とは — 保育の現場から —

YMCAたかつきあま保育園 スタッフ **東 来香**

「心に寄り添い、心を支える保育」とは、保育士の私たちにとっては永遠のテーマであり、子どもを理解する上で大切なことであると感じます。「心に寄り添う」といっても、言葉での共感やうなずき、行動、それとも子どもを信じて見守ることが寄り添うことになるのか…その時の状況や、その子どもとの関係によって変わってきます。

「愛の反対は憎しみではなく、無関心です」とマザー・テレサの言葉にもあるように、大切なことは、どれだけその子どものことを理解するために想いを寄せているかにあります。保育士はその子どものありのままを受け止め・寄り添い・あってほしい姿へと導き、「大切に思ってもらった」という愛された経験から、子どもたち自身が周りの人へと、そのような存在になっていくことをめざしています。

子ども自身が自分の想いに気付いてもらえた、共感してもらえたと感じることができ、その経験を心の安定や次へ挑戦しようとするパワーの糧につなげることができるよう願っています。



YMCA松尾台こども園 スタッフ **竹野 寛美**

YMCAに入職した時に受け取った『キリスト教保育ハンドブック』を読み、現場に立つ保育者というのは、子どもにとってとても大きな存在であることを実感しました。今でも心に残っているのは、保育者は子どもの気持ちを受け止め、できる限り希望をかなえていくという子どもとの信頼関係が基礎にあってはじめて、好奇心、想像力、創造力、物や人に関わる力などが育っていくという箇所です。

子どもたちは成長していく中で、様々な困難に遭遇し、心のバランスを崩すこともあります。残念ながら子どもの心は目には見えません。だからこそ、私たち保育者は子どもの目線に立ち、子どもの心を読み取るように、寄り添いながら一日一日を大切に過ごしていくことが求められています。

新型コロナウイルスと向き合い、生活様式を変えていくことにより、日々の保育活動にも影響があるかもしれません。しかし、どんな時でも神様を信じて、目には見えないものにも想いを寄せ、希望をもって子どもたちと関わることを大切にできる保育者でありたいと思っています。



大阪YMCA英語幼児園土佐堀園 スタッフ **マキーン桃子**

保育の現場で日々子どもたちと関わっていると、彼らの心に寄り添い、支えようとすることは、非常に奥深いものだと感じさせられます。

ある日、入園してきたばかりの子どもが、廊下でなんとも言えない表情で立っていることに気付きました。私はその姿を見て、慣れない環境で心細く、どうしたらよいのか分からなく不安になったのだらうと思いました。そして、何も言わずに優しくハグをしました。するとその子どもは、目をウルッとさせながら、「ありがとう!大丈夫、大丈夫。」と言って教室に入ってきました。その姿は、とてもたくましく見えました。彼は、言葉に出せない自分の不安に気づき、包み込んでくれる大人がいることで、安心して自分で教室に戻ることができました。保育者の子どもの心を見る目と行動により、子どもの中で変化が起き、勇気となりひとつの行動となること、そしてそのような日常の積み重ねが、子どもの豊かな成長につながることを実感しました。

私は、保育者が子どもの心に寄り添うためには、「想像力」が大切だと思います。一人ひとりの個性を大切に、より輝かせるためには、必要なものも違います。いつも「想像力」を働かせて、子どもたち一人ひとりの心にしっかりと寄り添い、支えていくことができるよう頑張っていきたいです。



あなたそのものに価値がある

YMCA学院高等学校 校長 **鍛冶田 千文**

私は中央教育審議会(文部科学省)のもとにあるワーキンググループ(WG)「新しい時代の高等学校教育の在り方を考える」に毎月参加しています。その中で、高校生に身につけさせたい力のひとつとして「不確実性の高い社会を生き抜くための力を…」という文章があります。「生き抜かないといけない社会」と想像するだけで、私には息苦しく、子どもたちの生きづらさを感じます。

私は生徒には「幸せで豊かな人生を送ってほしい」と願って教育活動を行ってきました。幸せは、自分が「自分でいい」と思えること、自分らしく生きることと考えています。

しかし、子どもは小さい時から家庭や学校から知らず知らずのうちに、明るく、賢く、積極性のあることが良い子だと思い、また、成績を上げることを求められているのではないのでしょうか。小さい頃からその価値観の中で育ち、「自分らしく生きる」ことを生徒たちに言う一方で、無意識にその価値観

を押しつけているかもしれないと思った時、暗澹たる気持ちになりました。

生徒の中には、「自分はダメな人間なんだ」「生きている価値がない」と思っている人がいます。理想とされる価値観と自分を比べ、世間が良しとする自分でないこと、親の期待に応えられない自分に自信を失っています。それがあたかも自分の努力が足りないかのように感じさせてしまう社会の価値観があるように思います。

今、コロナ禍にあって、対面の価値、人と人が支え合い、共に生きていくことの大切さが再認識されています。何が大事か、今こそじっくり考える時だと私はとらえています。YMCAでは、「神様の目から見ると、生徒の存在は他者との比較ではなく“あなたそのものに価値がある”」と伝えています。

旧約聖書 イザヤ書43章4節「私の目には、あなたは高価で尊い」まず、あなたを絶対的に認めてくださる神様との関係があるからこそ、それぞれが認められた存在として誰かと一緒に生きる、支え合える関係の社会を創ることが出来ます。生徒の声を聴きながら、お互いの存在の大切さを伝えながら、生徒たちと伴走したいと願っています。

日本語指導を受けながら高校卒業をめざす「トランスリンガルコース」開講

YMCA学院高等学校 スタッフ **芝原 里佳**

「日本みたいに平和な国は他にもありますか。」将来行ってみたい国について質問されてイラク出身のN君が答えた言葉です。「日本語指導を受けながら高校卒業をめざす」と冠して今年度から開講したトランスリンガルコースに、N君を含め5名の生徒が集まりました。生徒の出身国はイラクの他にアフガニスタン、ベトナム、中国で、彼らは小学校高学年から中学生の時に、就労の機会を得た親とともに安心できる環



生徒に寄り添う

YMCA学院高等学校 スタッフ **横山 伊津子**

本校には健康に不安をかかえる生徒が多数在籍し、その中でも起立性調節障害(OI)でつらい思いをしている生徒が多くいます。

OIは自律神経の調整がうまくいなくなる病気で、特に起立時に身体や脳への血流バランスが悪くなり、それが原因で立ちくらみやめまい、動悸・息切れ、食欲不振、倦怠感・頭痛、夜眠れず朝起きられないといった体調面での不調に加え、「怠けている」ように思われるなど周囲の理解が得られないことも多く、心理的にも苦しむことにつながり、中学校で不登校だった生徒が多数います。

本校ではOIの生徒に対して、きめ細かい配慮(合理的配慮)を行なっています。まずは、生徒のつらい想いをゆっくりじっくり聴き、通学できない場合などは必要に応じて補講や代替課題を活用しています。また、午後から通学できる「昼からクラス」など通信制高校ならではのコースを設けています。

昨年度は、ウエルネス事業部と協働で「ODキャンプ」を六甲山YMCAで実施しました。朝早く起きることを強要されずに安心して参加し、夜は仲間とこれまでのつらかった体験や気持ちを語って共有しました。「自分だけ

はなかった」「諦めていたことが、やれるとわかった」と生徒には大きな希望となったようです。

キャンプ後に実施した「健康に不安をかかえる子どもをもつ保護者と生徒のつどい」を、今年度も10月に実施する予定です。医師の柳本嘉時さん(関西医科大学総合医療センター小児科・元大阪YMCAコースボランティアリーダー)による、OIやその他の病気についての講演と、生徒と保護者が語り合う時間を計画しています。

コロナ禍ではありますが、生徒に寄り添い、皆が安心して過ごせる学校でありたいと願っています。



鯛もひとりほうまからず

YMCAサンホーム スタッフ 大石 和秀

新型コロナウイルス感染症の影響で何となく憂鬱な気分になりがち...

YMCAサンホームでは、月に一度のお楽しみとして「日本全国ふるさとの...

「鯛もひとりほうまからず」とは、「どんなに美味しいごちそうでも、ひとり...

皆さんも、こんな時だからこそ一日三食しっかり食べて、前を向き、体も...



岡山まつり寿司・なすとピーマンの炒り煮、人気駅弁「峠の釜めし」を再現しました。

ユースリーダー安全支援金へのご協力に感謝申し上げます。

2020年7月度報告・敬称略

- 赤澤 瑞穂, 小川 明彦, 佐川 朋子, 永澤 くらら, 松田 有希子, 稲井 千夏, 小川 久美子, 佐古 至弘, 中島 菜々子, 松野 五郎, 大井 琴葉, 小川 健一郎, 笹島 智恵美, 中島 彩, 長田 英子, 中田 一光, 中野 実香, 坂本 祐香, 寺田 智恵子, 丸尾 敦造, 野野 優月, 中井 里紗, 中嶋 祐二, 中島 菜々子, 中野 玲菜, 清水 由紀乃, 中元 直美, 奈良 有希子, 西詰 麻子, 宮部 菜由, 宮本 桂子, 宮本 修司, 宮本 美奈, 宮本 ルミ子, 望月 強, 森 哲史, 森田 菜月, 森田 ひとみ, 森本 啓二, 森山 京孝, 森山 紀典, 森山 みどり, 矢島 律子, 安田 圭子, 山田 裕子, 山本 駿, 山本 恒洋, 山本 世津子, 山本 尚美, 湯浅 禎也, 吉田 陽香, 吉田 全孝, 吉永 登志子, 吉岡 順子, 吉松 環, 吉村 周平, ラン 奈央, ラン ダーロン, 和田 早苗

ご寄贈に感謝

大阪YMCA学院 日本語学科 スタッフ すぎやま ちさと 杉山 知里

新型コロナウイルスの影響で急遽始まったオンライン授業。教員も学生...



大阪YMCA早天祈祷会

第325回 日 時 ... 2020年9月18日(金) 7:30~8:15 証 し ... 松野 五郎さん

会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。

2020年7月度報告・敬称略

- 【新規会員】 上村 五月, 佐藤 政樹, 永山 佳奈, 稲井 千夏, 四方 陽子, 奈良 有希子, 大井 琴葉, 島田 榮一, 西川 真由, 小川 久美子, 島原 柚紀, 西村 麻衣, 秋山 健二, 下村 崇史, 野田 寿加子, 東里 英実, 末岡 祥弘, 芳賀 義昭, 東里 裕子, 菅原 明子, 橋本 啓, 安藤 光輝, 菅原 厚子, 長谷部 一義, 飯沼 真, 小野 紗緒理, 林 貴子, 樋上 恵一, 石井 種男, 垣内 佐紀, 藤岡 宏樹, 伏見 祐子, 石川 慶子, 藤原 由紀乃, 藤原 直子, 藤原 学, 石倉 篤, 粕谷 和彦, 高木 麻友, 高橋 京子, 藤原 志帆, 石塚 みな, 加藤 敦子, 河合 美保, 川上 香・明来未, 古田 敏洋, 石野 小葉都, 石橋 基文, 川上 香・明来未, 細川 直子, 石橋 由加, 伊藤 鉄矢, 河内 勇人, 川端 康彦, 河部 智子, 井上 加奈, 井上 公男, 猪之関 淳香, 今井 利子, 今井 裕, 岩城 由香里, 岩本 順子, 黒 典子, William Miller, 上田 和寛, 上田 裕子, 上原 悦子, 上村 五月, 内山 雅文, 馬瀬 弥生, 浦田 智美, 江見 淑子, 大井 琴葉, 大石 和秀, 大北 康平, 大坂ワカイスメンズクラブ, 大坂ワカイスメンズクラブ, 大澤 美奈子, 大塚 由美, 大西 晴子, 大西 光子, 大林 肇, 大東 義史, 大藪 暢子, 岡崎 敦子, 岡山 牧人

大阪YMCAのホームページでその他の情報をご覧いただけます。

